

経営体の概要

- ・所在地：岐阜県下呂市
- ・経営体名：合資会社 大黒屋農園
- ・栽培作物・作付面積：水稲 4.3ha、トマト 3.5ha
菌床シイタケ 40万ブロック他
- ・従業員数：50名（令和6年5月現在）

導入技術

- ハイブリッドラジコン草刈機
（（株）アテックス製、RJ700）
 - ・草刈はエンジン、走行はモータ
 - ・最大作業角度45度（エンジン傾斜自動制御）



ラジコン草刈機
「神刈」



未来の後継者も
楽々操作

導入経緯

- 下呂市は中山間地域であり、傾斜地を含む狭小な農地（30a未満）が大部分を占めている。
- 農業の担い手不足、高齢化が深刻化するなか、畦畔の雑草管理は地域全体の問題となっており、中山間地域において持続的農業を推進するためには、雑草対策は避けて通れない課題となっている。
- そこで、ICTやロボット技術等の先端技術を活用し、畦畔管理の作業効率及び労働負担の改善を図ることを目的に、令和2年度にラジコン草刈機を1基導入した。

【導入事業】

スマート農業技術支援事業費補助金（R2岐阜県）

取組の特徴・効果

- 人力作業では危険を伴う急傾斜畦畔を中心に、ラジコン草刈機を遠隔操作して草刈りを実施。
- これにより、従業員の安全確保と作業労力の軽減、夏期の高温・強日照下での作業ストレスの大幅な軽減を実現。
- 急傾斜地においては、特に作業時間の短縮効果が高く、10a当たり1～3時間程度の削減効果を確認。しかし、傾斜がかなり強い斜面や雨天時は、機械が滑り作業性が低下する等、環境や天候により削減効果が低下する事例も確認。
- 急傾斜でも滑らず作業できるよう改造できないか検討している。